

講演会

ラ・グランド・シャルトルーズ修道院を訪ねて ～静寂と祈りの生活に現代へのメッセージを探る～

講師：杉崎泰一郎（中央大学文学部教授）

開催日／2019年1月11日 金曜日 17:00～19:00

会場／岡山大学津島キャンパス 文法経1号館2F文学部会議室

入場無料・申込不要

ラ・グランド・シャルトルーズ修道院はフランスのグルノーブル近郊の山中にあり、修道士たちは標高約1000メートルの美しくも厳しい自然の中で沈黙と祈りの生活を営んでいます。2005年にヨーロッパで封切られたドキュメンタリー映画『大いなる沈黙へ』は、知られざる修道院内部の生活を映像化したことで話題になり、数年前に日本でも公開されてDVDにもなりました。その900年有余年にわたる歴史を振り返りつつ、心洗われるような静寂の世界と貧しくも豊かな修道院へ、映像と資料を使いながら時空を超えた旅をしたいと思います。



講師プロフィール

1959年生まれ。上智大学文学部史学科卒業、同大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了。藤女子短期大学一般教育助教授等を経て、中央大学文学部教授。博士（史学）。著書に『沈黙すればするほど人は豊かになるーラ・グランド・シャルトルーズ修道院の奇跡』（幻冬舎）、『修道院の歴史ー聖アントニオスからイエズス会まで』（創元社）、『12世紀の修道院と社会 改訂版』（原書房）、『ヨーロッパ中世の修道院文化』（日本放送出版協会）等がある。

主催：岡山大学文学部平成30年度プロジェクト研究「宗教マイノリティと貧困に関する史的考察」

問い合わせ／文学部 大貫俊夫 (email: ohnuki@okayama-u.ac.jp)